

4. 時間割を作ってみよう

科目区分と取るべき単位の把握

👉 時間割作成の手順

履修計画と時間割は、自分の学年や進みたい専攻をしっかりと把握した上で作成しなければなりません。

ステップ1

2つの表を使う!!

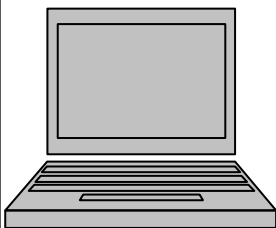
**教養教育科目
一覧表
19~20 ページ表 1**

表 1 教養教育科目一覧
(19~20 ページ)から、
自分の学年で取れる、区
分ごとに必要な科目を
リストアップする。

**専門教育科目
一覧表
21~33 ページ
表 2~7
(専攻ごと)**

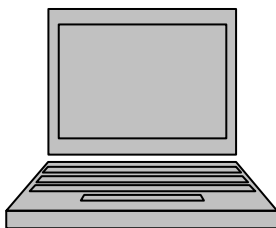
表 2~7 専門教養教育科目
一覧(21~33 ページ)から、
希望する専攻の表を選び、
自分の学年で取れる、区分
ごとに必要な科目をリスト
アップする。

ステップ2



Web 上で公開されている『授業計画』で講義内容を確認する。

ステップ3



Web 上で公開されている『授業時間
割』を見て、開講学期を確認し、時
間のダブリなどがないかを確かめて
時間割を作成する。

	月	火	水	木	金
1					
2					
3					
4					
5					

👉 科目一覧表

19~20 ページの表 1 は、「教養教育科目」の一覧表です。1 年次では、「教養教育科目」を中心に履修計画を立てることが望ましいので、この表 1 を見ながら、必修科目を優先的に、各科目区分から必要な単位数を履修していくことを心がけてください。なお、「教養教育科目」だけで 1 学期の 20 単位

は埋められないので、足りない分は「専門教育科目」から履修します。

21～33 ページの表2～7は、専攻ごとの「専門教育科目」の一覧表です。1・2年次では、3年次の専攻選択を念頭に置きながら履修計画を立てることが望ましいので、できるだけ希望する専攻の「専門教育科目」一覧表に載っている科目を選択し、専攻決定に備えます。

そして3年次・4年次では、卒業後の進路を念頭に置き、「専攻専門教育科目」を中心に履修計画を立てることが望ましいので、自分の専攻の表を見ながら、必修科目を優先的に、各科目区分から必要な単位数を履修していくことを心がけてください。